

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	大津市立大平保育園
代表者氏名（管理者）	園長 大辻 広美
法人名	大津市
定員（利用人数）	140名
施設・事業所所在地	滋賀県大津市大平二丁目33番22号
T E L	077-534-1750
F A X	077-534-1750
電子メール	outu1423@city.otsu.lg.jp
ホームページアドレス	https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/015/hoikuen/1423/1475450862583.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	令和6年11月11日・11月13日

3 評価の概要

○ 総合評価

大津市立大平保育園は大津市の南部に位置し、園の裏には大平山があり、時々鹿も姿を見せるなど自然豊かな環境にあります。大平保育園は昭和49年4月に開園された歴史のある保育園です。園舎の外観は歴史を感じさせるところもありますが、一步玄関に入るとすぐに大きなホールになっており、二階まで吹き抜けの開放的な園舎となっています。一階は0歳児～2歳児の子どもたちが主に生活をしています。各クラスではそれぞれの月齢に合わせた遊びや生活をすすめています。保育士は子ども一人ひとりの発達段階に合わせた関りをし、保育士自らが遊びのモデルとなり保育に取り組んでいます。子どもたちは小さな体で目いっぱい体を動かし、生き生きとした保育園生活を楽しんでいる姿を見ることができました。

ホールの正面には給食室があり、三名の調理担当が毎日子どもたちが嬉しそうにご飯を食べる姿を想像しながら、栄養や食べ易さに配慮した食事を作っています。給食室は大きな1枚のガラス越しに中を見ることができるようになっており、子どもたちは調理担当がどのようにご飯を作っているのかいつでも見ることができます。このように給食室が「見える化」されていることは、「食育」に繋がるとも大切な環境のひとつと言えます。

更に、階段を上がって二階へ行くと3歳児～5歳児の年齢の子どもたちが元気よく遊んでいます。二階の廊下の柵はアクリル製で透明になっており、どこからでも下のホールを見下ろすことができます。入園式では二階から新入園児へ歌のプレゼントを行うなど、限られたスペースを有効に活用しています。このように子どもたちは自然豊かな環境と、保育士等の日々の努力によってすくすくと育っている魅力の多い保育園です。

○ 特に評価の高い点

1. 地域との連携を大切にした園運営

大平保育園がある石山学区では「iism (アイ・イズム)」という地域独自の取り組みが行なわれています。石山地域全体で子どもたちを見守り、様々な社会資源を活用して子どもの育ちを支えています。子どもたちが園外への散歩に行ったり地域活動に参加したりする事によって、より地域に開かれ地域から必要とされる保育園として認められています。

2. 保護者との密な情報共有

大津市立保育園共通の保育業務支援システム (HOICT) による保護者への情報伝達だけでなく、各クラスでの活動の写真や掲示物により、日々の子どもたちの保育の状況を保護者へ伝えていきます。また、保護者や地域住民を巻き込んだ活動や細やかな対応により、保護者の信頼を得るよう園をあげて取り組んでいます。

3. 恵まれた環境を活かした保育

大平山の豊かな自然の中で「一人ひとりの子どもの主体性を大切にした保育」を目標に、子どもたちの育ちに繋がる保育を行っています。建物自体は歴史を感じますが、よく考えられた配置 (設計デザイン) になっています。日当たりのよいホールは昼食時の食堂になり、行事の時には作品の展示場になるなど限られたスペースを最大限に活用した保育に努めています。職員用の大

きな休憩室を設置している点も、職員の働き易さへ配慮した表れだと思われます。

○ 改善を求められる点

1. 園運営に必要な規程や業務マニュアル類の整備

各種マニュアルや法令集などを整理し、必要時には職員が直ぐに確認出来るよう配置しておくことをお奨めします。具体的には、子どもの権利擁護やプライバシー保護のマニュアル等の作成、職員向け研修を行い子どものプライバシー保護への意識を高める取り組みを明文化することが期待されます。また、保育に関する法令等の学習会を定期的を開催することで、コンプライアンスに則った保育を行い、それにより保育の質をさらに上げることに繋がると考えます。

2. トイレ環境の見直しについて

トイレ環境においては月齢的に支援が必要な時期ではありますが、性差による配慮やどちらかが「見られると恥ずかしい（見るのが恥ずかしい）」と思うような場面がないような配慮が必要です。安全に配慮した中で簡易なカーテンや仕切りがあると良いと思われます。特に入り口周辺は保護者などの大人も見えるので改善が必要です。

3. 保護者等からの意見収集について

苦情解決の体制において、保護者がより相談し易くなる手順の掲示や苦情・相談案件の対応内容などを個人情報に配慮しながら地域へ公開していくことをお奨めします。そのような取り組みを行うことで、大平保育園として保育の質の改善に向けた姿勢を、保護者や地域住民へ向けてアピールすることに繋がります。

4. 職員の働き易さへの配慮

保育人材不足が慢性化する中、人材を集めるのは苦勞するところです。今回の第三者評価の聞き取りの中でも、年休や有給の取得において完全な状況とは言えず、また事務時間や子どもたちに向き合う以外の作業が保育業務全体を圧迫しており帰宅時間が遅くなる様子が聞かれました。人員配置や業務の適正化や効率化、残業の改善等に取り組む必要があるのではないかと推察されます。誰か一人の力（善意）に頼りすぎると何かあった時に行き詰ってしまう危険性があります。総じてワーク・ライフ・バランスに沿った業務改善を望みます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

大平山の豊かな自然と地域の方の温かい見守りの中、日々子どもたちと楽しく保育を繰り広げられていることに感謝しながら過ごしています。

今回、第三者評価を受けることとなり、日々の保育を丁寧に振り返る機会をいただきました。地域に開かれた保育園、食育の取り組みとその中での子どもの成長、保育者の子どもへのかかわり方、研修への取り組みなど、たくさんの項目を評価いただいたことは職員の励みとなりました。

また、園舎周りの環境、子どもたちのプライバシーへの配慮、マニュアル整備や周知などについては改善策を職員で協議しながらできるところから進めているところです。

日ごろ何気なくしていることも法的な根拠があることを再確認することができたり、日々の繰り返しの中で見逃していたことへの気づきをいただいたりすることができました。

職員のワークライフバランスの実現を目指すことが、子どもと保護者への質の高い保育につながると思え、職場環境の改善も図っていきたいと思います。

今後も一人一人の子どもと保護者に信頼される保育園となるよう、全職員で保育に取り組んでいきたいと思ひます。